

# 突発地震発生時の 自主防☆初動チェックリスト

## 【発災直後】

- 自主防災組織本部の設置：本部設置場所（ ）
  - 市町災害対策本部への連絡
  - 台帳等の用意
    - 世帯台帳       要援護者台帳       地図       ホワイトボード(掲示板)
    - 防災資機材の準備
  
- 役割分担の決定と初動活動
  - 初期消火活動
    - 出火場所の確認
    - 消火活動人員の割り振り及び初期消火指示
  - 住民の安否確認
    - 安否確認情報の収集      安否不明者(      )人
    - 安否不明者の確認
  - 災害時要援護者への支援
    - 災害時要援護者の所在確認
    - 支援者の割り振り及び避難支援の指示
  - 救出・救助活動
    - 要救出者の確認
    - 救出人員の割り振り及び救出指示
  - 医療救護活動
    - 搬送人員の割り振り及び重傷者・中等傷者の搬送
    - 軽傷者の応急処置
  - 地域内の被害情報収集
  
- 市町災害対策本部等への支援要請等
  - 支援要請
  - 被害状況の報告

各  
班  
の  
活  
動

避難対象地区内の自主  
防災組織では、避難行  
動が最優先です。  
(4 ページ参照)

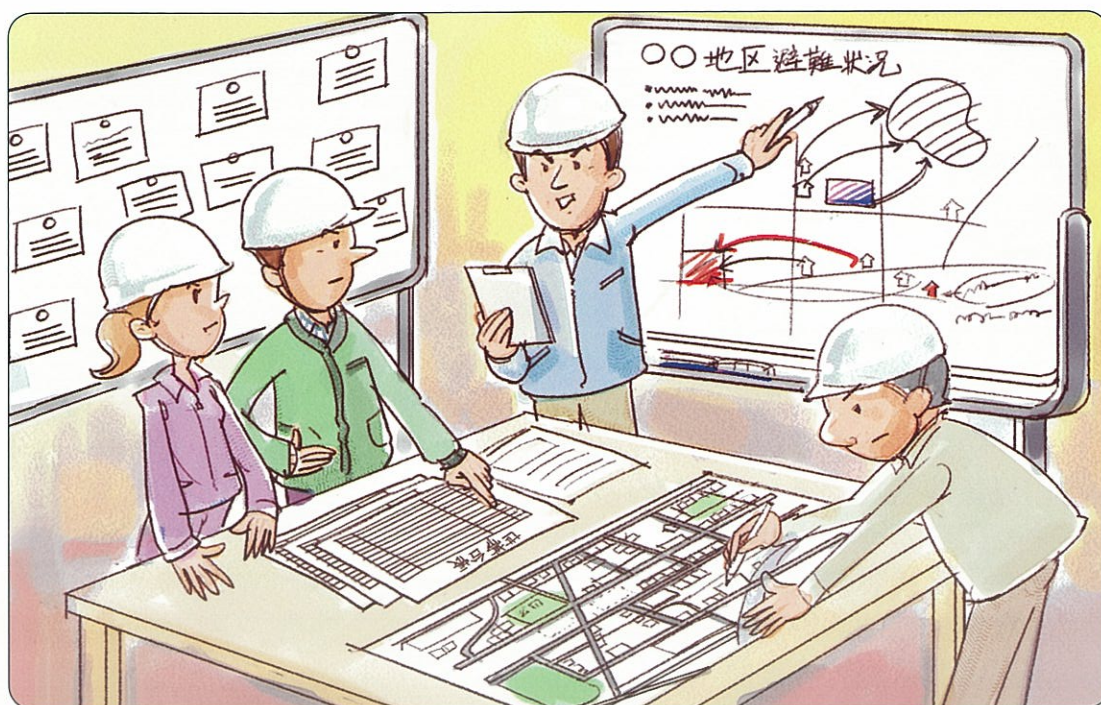
## 【数時間～3日経過後】

- 役割分担の見直し
- トイレの確保
- 家屋の補修作業
- 炊き出し
- 生活情報の収集及び住民への周知
- 地域内の警備・見回り
- 住民聞き取り調査

# 〈発災直後〉

## ◆自主防災組織本部の設置

- 突然地震が発生した場合には、役員全員がそろわないことが予想されますが、1人でも本部は設置し、市町災害対策本部に本部設置の報告をしましょう。
- 本部には世帯台帳や災害時要援護者台帳等の台帳類を配置しましょう。また、地域内の地図、ホワイトボード（掲示板）を設置し、被害情報等を共有しましょう。
- 防災倉庫等にある防災資機材の配備をしましょう。



## ◆役割分担の決定

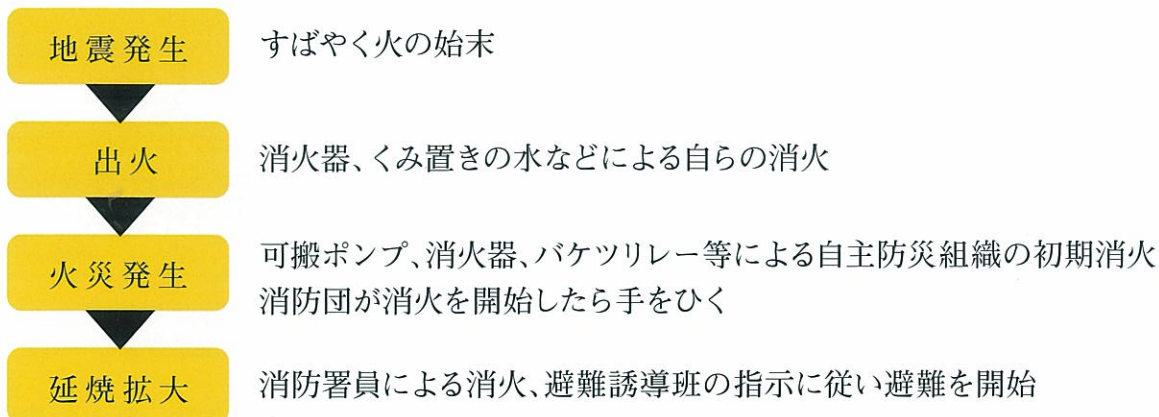
集まった人員を確認し、必要な役割の分担を決めましょう。発災直後に必要な役割は次のようなものが考えられます。

班名	発災直後の活動内容
消火班	初期消火活動
避難誘導班	住民の安否確認
災害時要援護者班	災害時要援護者の所在確認及び避難支援
救出・救助班	救出・救助活動
衛生救護班	応急手当の実施、重傷者等の搬送
情報班	地域内の建物や道路等の被害状況の収集

## ◆初期消火活動

出火場所を確認し、人員及び可搬ポンプなど資機材の割り振り後、初期消火活動をしましょう。

ただし、地域で行う初期消火活動はあくまで火災の延焼を防止することが目的ですので、決して無理はしないように注意してください。消防団員や消防署員が到着したらその指示に従うようにしましょう。



## ◆住民の安否確認

- 世帯台帳、災害時要援護者台帳等を活用し、地域内の住民の安否を本部に集まった各組長等から収集しましょう。
- 安否確認情報はみんなで共有することが重要です。ホワイトボードや地図に安否確認情報を記入しましょう。
- 安否不明者がいる場合は自宅等まで確認に行きましょう。



## ◆災害時要援護者への支援

民生委員・児童委員と協力し、災害時要援護者台帳等を活用して、災害時要援護者の所在を確認しましょう。避難が必要な場合は、安全な場所まで避難させましょう。

特に、障害のある方は、大地震が発生すると無事であっても、立ち往生している場合が想定されます。必ず自宅まで行き、所在の確認をしましょう。

災害時要援護者への支援活動は、地域の中学生・高校生にも手伝ってもらいましょう。

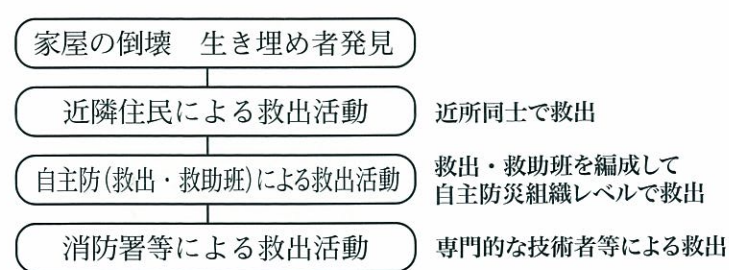


## ◆救出・救助活動

本部の地図等に記載してある情報から、要救助者の人数や場所を確認し、救出・救助を行う人員や資機材を割り振りましょう。

市町災害対策本部・消防署等への支援要請が必要な場合は、自主防災組織本部に連絡しましょう。

また、救出・救助状況を確認し、救助漏れのないようにしましょう。



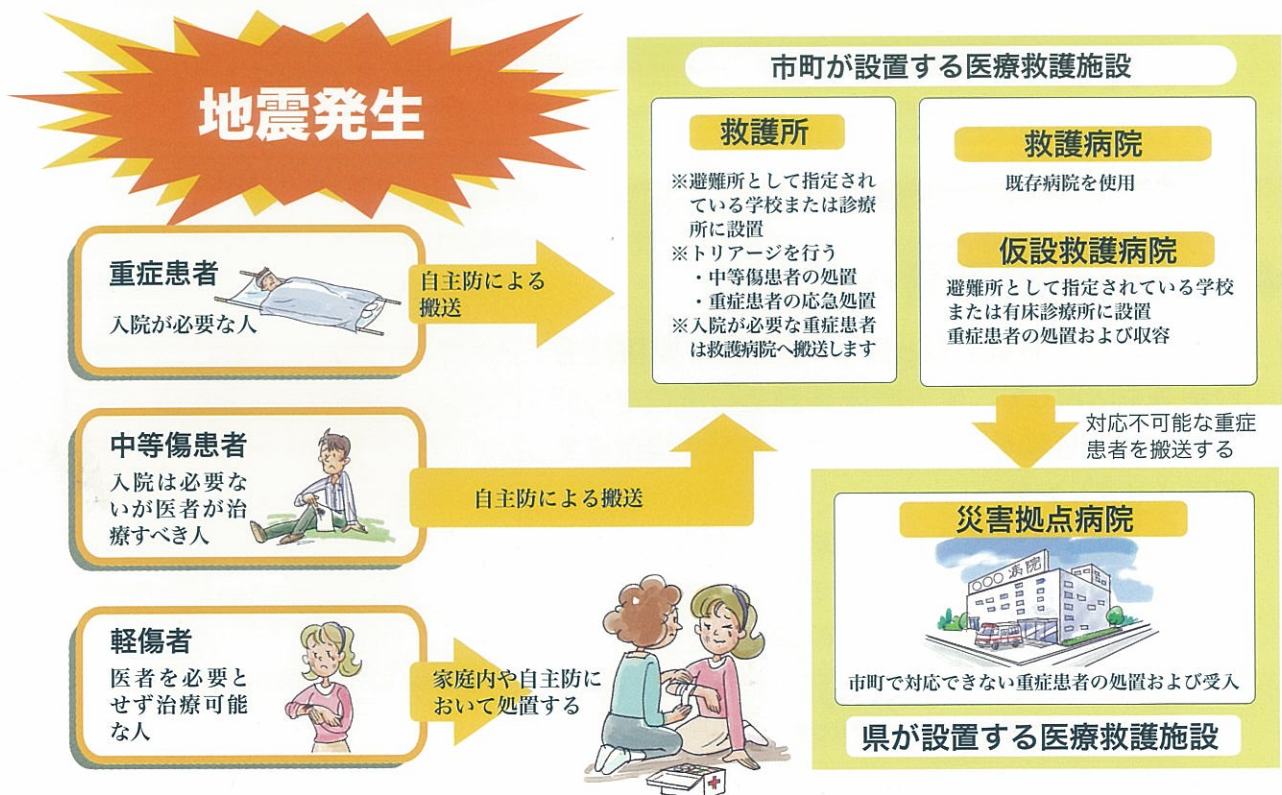
救出作業は危険を伴う場合がありますので、二次災害に十分注意しましょう。

## ◆医療救護活動

負傷者を発見した場合はまず応急手当を行い、重傷患者や中等傷患者は救護所等の医療救護施設に搬送しましょう。

搬送する場合は、医療救護施設までの道路被害状況等を確認し、搬送手段及び搬送者を決めましょう。

なお、医療救護施設が設置される場所は事前に確認しておきましょう。

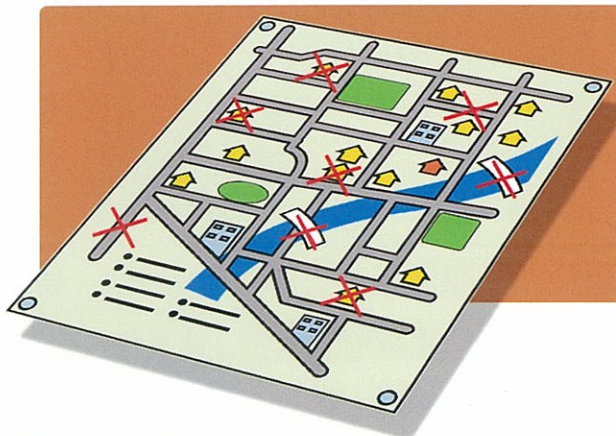


## ◆地域内の被害情報の収集

地域内の被害状況(死傷者や建物、道路等の被災状況等)や火災発生の状況を迅速にとりまとめ、本部の地図及びホワイトボードに記入しましょう。

情報収集を迅速に行うため、調査区域を分けて担当者を決め、地域内の被害状況等、必要な情報を収集しましょう。

なお、「被害なし」という報告も災害の全体像をつかむための重要な被害情報になりますので忘れずに報告するようにしてください。



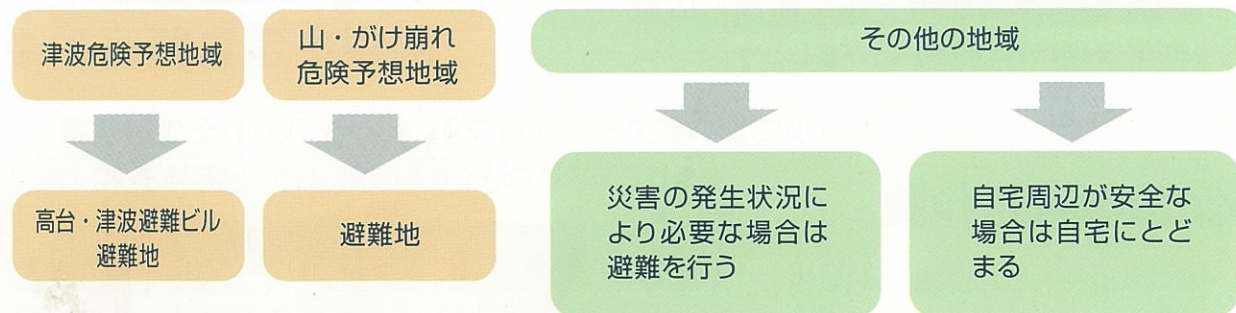
## ◆市町災害対策本部等への支援要請等

- 消火班、救出・救助班等からの支援要請をとりまとめ、市町災害対策本部や消防署等へ連絡しましょう。また、必要な場合は、近隣の事業所に応援を要請しましょう。
- 地域内の被害状況を市町災害対策本部に連絡しましょう。

## 避難行動

地域の危険性によって避難の方法が異なります。自分の地域の危険性とどのような避難行動が必要なのか、よく理解しておくことが大切です。

### 【大きな地震が発生したら】



### 【地震が収まったら】



# 〈活動が落ち着いてきたら〉

## ◆役割分担の見直し

安否確認活動、初期消火活動、災害時要援護者支援活動などが落ち着いてきたら、役割分担の見直しをしましょう。

発災直後に必要だった活動の他に必要な役割としては、次のようなものが考えられます

班 名	主な活動内容
生活班	炊き出し、物資配分の協力、生活相談や心のケア
安全点検班	被災後の巡回、危険箇所の広報
清掃班	ごみの処理、避難経路の障害物の除去
補修班	屋根の応急修理等
衛生救護班	トイレの確保

## ◆トイレの確保

地震発生後、ライフラインが寸断されると、各家庭のトイレは使用できないことも予想されます。

防災倉庫等にある仮設トイレを組み立てましょう。

トイレの数が少ない場合は、仮設トイレの設置を市町災害対策本部に要請しましょう。

トイレの清潔な使用方法を住民に広報し、衛生管理には注意を払いましょう。



## ◆家屋の補修作業

ブルーシートなど資機材を調達し、屋根や窓ガラスの応急修理をしましょう。

ただし、余震等に注意をし、無理はしないようにしましょう。



## ◆炊き出し

発災当日から炊き出しが必要になることが予想されます。

炊き出しに必要な調理器具、各家庭から持ち寄るなどした食材等を確保しましょう。また、備蓄してある非常用食料などを利用しましょう。

炊き出しは、地域の中学生・高校生にも積極的に手伝ってもらいましょう。



## ◆生活情報等の収集及び住民への周知

給水、ごみ収集などの生活情報を市町災害対策本部から収集しましょう。自主防災組織本部の掲示板に生活情報を掲示するなど、地域内の各家庭に伝えて混乱が起らないようにしましょう。

災害時要援護者世帯には、直接説明をするようにしましょう。

## ◆地域内の警備・見回り

地域内の警備や見回りを行い、防火・防犯に心がけましょう。

特に、空き家を狙った犯罪に注意しましょう。



## ◆住民聞き取り調査

●地域の全住民に対し、ボランティアのニーズ等の聞き取り調査を行いましょう。調査項目としては、次のようなものが考えられます。

- 1 安否の確認
- 2 避難先または現在の居場所
- 3 けがの有無または身体の状態
- 4 仮設住宅入居希望の有無
- 5 ボランティアに手伝いを希望するか、どんな内容か
- 6 主な被害状況

●地域内の仮設住宅入居希望やボランティア支援要望等を取りまとめ、市町災害対策本部に要請しましょう。

## ◆確認事項

自主防災組織名		
危険地域の確認	津波危険予想地域 山・がけ崩れ危険予想地域 その他の地域 (該当する地域を○で囲む)	
	津波危険予想地域	山・がけ崩れ危険予想地域
	( )世帯 ( )人	( )世帯 ( )人
発災後の避難場所		
自主防災組織本部 設置場所	第1候補	第2候補
名簿等保管場所	世帯台帳	災害時要援護者台帳
防災資機材	防災倉庫等	防災資機材の名称・数量

## ◆連絡先一覧

連絡先	電話	住所
会長 ( )	自宅： 携帯：	
副会長 ( )	自宅： 携帯：	
副会長 ( )	自宅： 携帯：	
民生委員 ( )	自宅： 携帯：	
市町災害対策本部		
( ) 消防署		
近隣の事業所 ( )		
救護所 ( )		
救護病院 ( )		